

# 第1学年 学級活動指導案

指導者 八重樫 佳歩

支援員 梅澤 悦子

児童 男6名 女13名 計19名

場所 1年教室

- 1 議題名 「ほいくしょのみんなとなかよくなろうかいをしよう」  
学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

## 2 活動を意図した背景

### (1)児童の実態

本学級の児童は明るく活発で、休み時間には外や体育館で体を動かして遊んでいる子が多い。掃除や給食当番、係活動など自分たちでできることが増えてきた。児童たちは「できるようになりたい」「やってみたい」という気持ちがとても強く、どの活動にも前向きに取り組んでいる。入学当初は同じ保育園や幼稚園の友達、教師と一緒に遊ぶことが多かったが、最近は交友関係も広がってきて、1年生同士で友達を誘い合ったり遊んだり協力したりする姿が見られる。

児童たちは、これまでに「6ねんせいありがとうかい」を行っている。お世話をしてもらったことに対する感謝の気持ちを伝え、喜んでもらうために何ができるかを話し合い実践した。振り返りでは「楽しかった」「6年生がにこにこでうれしかった」「またやりたい」という声があがり、達成感を感じることができた。

反面、交流が広がっていく一方で1年生同士のトラブルも増えてきている。相手の気持ちを考えずに、自分のやりたいことを通そうとしたり相手の話を聞こうとしなかったりする姿もある。また、自分の考えを伝えることに対して「恥ずかしい」「まちがっていたらどうしよう」と、ためらう姿も見られる。

### (2)教師の思い・願い

本議題は、相手のことを思いやる気持ちを育てたい、保育園児と一緒に遊んだりお世話をしたりすることで自信をもって2年生になってほしい、という教師の願いと、来年度入学してくる保育園児と仲良くなりたいという児童の思いから生まれたものである。

保育所のみんなと仲良くなるための会を計画することを通して、自分の役割をやり遂げる責任感やみんなと協力することの大切さを味わうことができるようにする。

この「ほいくしょのみんなとなかよくなろうかい」は、来年度、小学校に入学する年長児に対して行うものである。小学校では上学年にたくさんお世話になっている1年生であるが、自分たちだけでできることも増えてきた。自分たちよりも小さい子のお世話をすることで、「自分たちが来年2年生になるのだ」という自覚をもたせたい。また、保育所の子どもたちにとって楽しい遊

びは何か、どうしたら楽しめるか等を話し合うことで、「相手を思いやる気持ち」を育てたい。

また、学級会での話し合いを通して、自分以外の考えに触れて考え方を広げるとともに、友達の考えの良さを見つけて共感したり認めたりすることができるようになってほしい。

### (3) 研究主題に関わって

#### 視点1 かかわる について

- ・6年生とのお楽しみ会を計画することで、6年生への感謝の気持ちを伝えられるようにする。
- ・事前にアンケートをとることで、小学校入学前に自分たちがどんな気持ちで過ごしていたかを思い出すことができるようにする。
- ・保育所の先生から、保育所の子どもたちの様子について伝えてもらう場を設けることで、「ほいくしょのみんなとなかよくなろうかい」を、よりイメージしやすくする。(動画を撮る。)
- ・「保育所の子どもたちが楽しめること」という視点を持ち、相手を思いやって考えることができるようにする。
- ・話し合いで決めた工夫を確認しながら、保育所の子どもたちとなかよく遊ぶことができるよう支援する。

#### 視点2 つながる について

- ・道徳での学習で、相手を思いやった行動をすると相手も自分も気持ちがよく、うれしい気持ちになることに気付かせ、相手を思いやって行動することができるようにする。
- ・自分の考えをもって活動にのぞみ、発表することができるようにする。
- ・自分たちにどんなことができるかを学級で話し合い、実践することの楽しさを味わわせ、これからの活動や学校行事にも協力して取り組むことができるようにする。
- ・活動を振り返り、2年生に向けてなりたい自分のイメージをもつことができるようにする。

### 3 活動のねらいと評価規準

#### 【活動のねらい】

「ほいくしよのみんなとなかよくなるうかい」の活動を通して、相手を思いやる気持ちをもって活動に取り組むとともに、みんなで協力して成功させようとする意欲をもつことができる。

#### 【評価規準】

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

### 4 活動の流れ

月 日	○児童の活動 ・児童の思いや願い	☆指導上の留意点と 研究に関わる視点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
7月19日(水)	○「6ねんせいありがとうかい」をしよう。 ・6年生に喜んでほしいな。 ・6年生にありがとうを伝えたい。 ・6年生が喜んでくれるようにがんばろう。	☆自信をもって発表できるように、励ましの声をかける。 ☆6年生に感謝の気持ちを伝え、喜んでもらうための会であることを確認する。 →視点1	◎6年生に感謝の気持ちを伝えることができる。 ◎周りの人に感謝の気持ちをもって生活することができる。【思考・判断・表現】〈観察〉
7, 8, 9月	○道徳の学習 ・やさしくすると、相手も自分もうれしくなるね。 ・相手を思いやることは、大切だね。	☆道徳での学習を通して、相手のことを思いやって行動することの大切さや良さに気付かせる。 →視点2	◎相手のことを考えて優しく接することの大切さが分かる。【思考・判断・表現】 〈ワークシート〉
9月11日(月)	○どんなことをしたいか、考えよう。(アンケート) ・どんなことができるかな。 ・みんなで楽しめることは何かな。	☆入学前の自分たちを想起させ、保育園の児童たちが楽しめるようなものを考えられるようにする。	◎どんなことをしたいかを考えている。【思考・判断・表現】 〈アンケート〉

9月13日(水) ～15日(金)	○第一回計画委員会 アンケート結果を見て、保育所の子 たちとどんなことをするかを考える。 ・ 「おにごっこ」なら、保育所の子 でもできそう。 ・ みんなで楽しめることは何かな。	☆これまでの経験を 想起させながら、自 分たちにできるこ とは何かを考えら れるようにする。	◎これまでの経験を 思い出し、活かそ うとしている。  【主体的態度】 〈観察〉
9月19日(火) ～22日(金)	○原案作り 計画委員会での話し合いを踏まえ、会 の内容を考える。 ・ みんなが参加できるものがいいね。 ・ 保育所の子どもたちは体を動かす ことが好きなんだね。 ・ 6年生の時みたいにプレゼントを 渡したら喜んでもらえると思う。	☆「保育所の子どもた ちが好きなこと」 「保育所の子ども たちが楽しめるよ うにする」という視 点で考えられるよ うにする。	◎2つの視点を理解 し、視点に沿って 発言している。 【思考・判断・表現】 〈観察〉
9月25日(月)	○原案説明 計画委員会で考えた原案の説明を し、提案理由や内容、決まっているこ とについて共通理解する。提案された ものを踏まえ、自分の考えをプリント に書き込んでおく。 ・ おにごっこはルールも分かりやす いから良いと思う。 ・ 宝探しはみんなが楽しめると思うな。 ・ プレゼントは6年生も喜んでくれ たから、保育所の子にもあげたいな。	☆提案理由に沿って 考えられるように 促す。 ☆保育所の子どもた ちが楽しめるよ うにどんな工夫がで きるかを、これまで の経験を想起させ ながら考えられる ようにする。	◎自分の考えと理由 をプリントに書き こんでいる。 【主体的態度】 〈提案プリント〉
9月26日(火) ～28日(木)	○第2回計画委員会 話し合いの流れを確認し、学級のみ んなの考えを知る。 より分かりやすくなるように、提案 理由を書いた紙等を準備する。	☆当日の話し合いの 動きを確認する。	◎役割、話し合いの 進行の仕方等を 理解している。 【知識・技能】 〈活動計画・観察〉

<p>9月29日(金) 本時</p>	<p>○「ほいくしょのみんなとなかよくなるうかいをしよう」</p>	<p>☆学級会がスムーズに進むように司会、記録チームの助言・支援に入る。 →視点1・2</p>	
<p>10月2日(月) 以降</p>	<p>○「ほいくしょのみんなとなかよくなるうかい」に向けての準備をしよう。 発表するために、必要なものの準備をする。 ・6年生の時みたいに喜んでもらえるといいね。 ・プレゼントは丁寧につくろうね。</p>	<p>☆保育所の児童たちが楽しむことができたなら大成功であることを伝え、発表会に向けて準備を進められるように支援する。</p>	<p>◎自分にできることを考え、進んで活動に取り組んでいる。 ◎保育所の児童たちに喜んでもらうためにプレゼントを丁寧に作ったり、必要なものの準備をしたり、自分から進んで取り組んでいる。 【主体的態度】 【思考・判断・表現】 〈発表・観察〉</p>
<p>10月25日 (水)</p>	<p>○「ほいくしょのみんなとなかよくなるうかい」実践 ・みんなが楽しめるといいね。 ・保育所のみんなが緊張しているかな。声をかけてあげよう。 ・2年生になっても、たくさんお世話をしてあげたいな。</p>	<p>☆話し合いで決めた工夫を確認しながら、保育所の子どもたちとなかよく遊ぶことができるよう支援する。 ☆活動を振り返り、2年生に向けてなりたい自分のイメージをもつことができるようにする。 →視点1・2</p>	<p>◎保育所の子どもたちが楽しめるように声をかけたり、活動を進めたりしている。 ◎自分の役割を最後まで果たし、互いに声をかけあいながら協力して取り組んでいる。 【思考・判断・表現】 〈観察〉</p>

5 本時のねらい

一人ひとりが自分の考えをもち、「もっとよくするために」という視点で話し合いながら、「ほいくしょのみんなとなかよくなるうかい」の内容を考えることができる。

〔見取りの視点〕・自分の考えを理由とともに発表し、活動をよりよくするためにという視点で話し合い活動に取り組むことができる。

6 本時の展開

議 題	ほいくしょのみんなとなかよくなるう会をしよう	
提案理由	はなわほいくしょのみんなは、からだをたくさんうごかしてあそぶことがだいすきです。らいねんはなわしょうがっこうにゆうがくしてくるので、なかよくなれたらうれしいとおもいます。いっしょにあそぶことでなかよくなり、ほいくしょのみんなががっこうがたのしみになってほしいです。	
話し合いのめあて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じぶんのかんがえと わけを おおきなこえで はなそう。</li> <li>・「こうしたらもっとたのしい」をかんがえて はなそう。</li> </ul>	
	児童の活動	・教師の支援
① はじめの言葉		
② 司会グループの紹介		
③ 議題の確かめ		
	ほいくしょのみんなとなかよくなるう会をしよう	
④ 提案理由・原案の説明		・記録係が出てきた発言をスムーズに黒板に貼れるように、似たような意見をまとめておく。
⑤ 話し合いのめあての確かめ		・提案理由に沿って話し合いが進むように、助言する。
⑥ 先生の話		
⑦ 話し合い		
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p><b>本時で話し合うこと</b></p> <p>【はしら①】どんな遊びをするか。 予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ だるまさんがころんだが良いと思う。</li> <li>・ 宝探しなら、みんな楽しめると思う。</li> <li>・ じゃんけん列車はどうか。</li> <li>・ かくれんぼが楽しいよ。</li> </ul> <p>【はしら②】保育所のみんなが楽しく遊ぶためにどうしたらよいか。 予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走るのが苦手な子は、1年生といっしょにやってみよう。</li> <li>・ 保育所の子はおににしないのがいいと思うな。</li> </ul> </div>	
⑧ 決まったことの確かめ		・視点1 保育所の先生から保育所の子どもの様子の様子について伝えてもらう場を設ける。
⑨ 先生の話		・視点2 これまでの学習や生活を振り返り、自分たちができていることを考えて意見を発表できるよう助言する。(出し合い)
⑩ ふりかえり		
⑪ おわりの言葉		